

## アルコール使用障害 Alcohol Use Disorder DSM-5 診断基準

- A. 臨床的に重大な障害や苦痛を引き起こすアルコール使用の不適應的な様式で、以下の2つ以上が、同じ12ヶ月の期間内のどこかで起こることによって示される。
- 1 アルコールをはじめのつもりよりも大量に、またはより長い期間、しばしば使用する
  - 2 アルコールを中止、または制限しようとする持続的な欲求または努力の不成功のあること
  - 3 アルコールを得るために必要な活動、アルコール使用、または、その作用からの回復などに費やされる時間の大きいこと
  - 4 アルコールの使用に対する渴望・強い欲求または衝動
  - 5 アルコールの反復的な使用の結果、仕事・学校または家庭の重大な役割義務を果たすことができなくなった。
  - 6 持続的あるいは反復的な、社会的なまたは対人関係の問題がアルコールの影響により引き起こされたり悪化したりしているにもかかわらずアルコール使用が持続
  - 7 アルコールの使用のために重要な社会的、職業的または娯乐的活動を放棄、または減少させていること
  - 8 身体的危険のある状況でアルコールを反復使用する
  - 9 精神的または身体的問題が、アルコールによって持続的または反復的に起こり、悪化しているらしいことを知っているにもかかわらず、アルコール使用を続けること
  - 10 耐性、以下のいずれかによって定義されるもの：
    - a. 酩酊または希望の効果を得るために、著しく増大した量のアルコールが必要
    - b. 同じ量のアルコールの持続使用で効果が著しく減弱
  - 11 離脱、以下のいずれかによって定義されるもの
    - a. アルコールに特徴的な離脱症候群がある（アルコール離脱の基準AとBを参照）
    - b. 離脱症状を軽減したり回避したりするために、アルコール（またはベンゾジアゼピン等の密接に関連した物質）を摂取する

現在の重症度を **特定せよ**：

**軽度 (Mild)** : 基準の 2 つか 3 つを満たす

**中等度 (Moderate)** : 基準の 4 つか 5 つを満たす

**重度 (Severe)** : 基準の 6 つ以上を満たす

該当すれば **特定せよ**：

**早期寛解にあるもの (In early remission)** : 以前にアルコール使用障害の基準を完全に満たし、その後にアルコール使用障害の基準 (A 4 「アルコールの使用に対する渴望・強い欲求または衝動」以外) のいずれも満たさない時期が 3 ヶ月以上 12 カ月未満の間あったもの

**持続した寛解にあるもの (In sustained remission)** : 以前にアルコール使用障害の基準を完全に満たし、その後にアルコール使用障害の基準 (A 4 「アルコールの使用に対する渴望・強い欲求または衝動」以外) のいずれも満たさない時期が 12 ヶ月以上あったもの。

該当すれば **特定せよ**

**管理された環境下にある (In a controlled environment)** : この付加的な特定用語はアルコールの使用が制限された環境にいる人に用いられる。

DSM-IV におけるアルコール乱用とアルコール依存がアルコール使用障害として統合された。乱用の 4 項目のうち、違法性を問う項目を削除した 3 項目 + 依存の 7 項目 + 摂取欲求についての 1 項目を合わせた計 11 項目で診断することになった。DSM-IV の依存症は 3 項目以上を満たしたものを診断したが、DSM-5 の使用障害は 2 項目以上満たせば診断に至ることになり、以前よりも診断が広がっている。